※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅰ　（教育図書）・書道Ⅰプライマリーブック						
副教材等	自主プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書写から書道への発展を用具用材の違いによる変化を学ぶ。
・楷・行・草の三書体を、古典を通じ時代順に臨書を学ぶ。
・仮名の基本を学ぶ。
・創意工夫で自分らしい文字表現の作品作り。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】「書」を自己表現として関心を持たせる。
【思考力、判断力、表現力等】毛筆の特性や技法を身につけ、線質と墨・紙・筆との関係を持たせる。
【学びに向かう力、人間性等】書の良さや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫し、完成を持たせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させると共に、書の伝統に基づいて作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫し、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 3 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書体の変遷	・五書体の説明 ・自分の名前調べ（五書体)	a:五書体を理解する。 b:名前の各書体を調べ五書体の違いに関心を持つことができる。 c:名前の五書体を理解し書けるようにする。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
	楷書の学習	・九成宮醴泉銘、孔子廟碑臨書、雁塔聖教序 ・楷書の古典臨書を通じて古典の書体に即した用筆、運筆、線筆、字形を理解する。	a:楷書に関心、興味を持たせ歴史的位置づけを理解できる。 b:古典の用筆、運筆を修得できる。 c:古典から１つを選び半切1/2に臨書する。 作品を鑑賞しあい、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
二学期	行書の学習	・蘭亭序 ・行書の古典臨書を通じて古典の書体に即した用筆、運筆、線筆、字形を理解する。	a:行書に関心、興味を持たせ歴史的位置づけを理解できる。 b:古典の用筆、運筆を修得できる。 c：半切1/2に臨書する。 作品を鑑賞しあい、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
	行書の学習	・風信帖 ・行書の古典臨書を通じて古典の書体に即した用筆、運筆、線筆、字形を理解する。	a:行書に関心、興味を持たせ歴史的位置づけを理解できる。 b:古典の用筆、運筆を修得できる。 c:半切1/2に臨書する。 作品を鑑賞しあい、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察

※令和４年度以降入学生用

二学期	篆刻の学習	・姓名印を刻す(白文印)。	a:印の歴史と用途に応じた印の種類を理解できる。 b:印刀の使用方法を修得できる。 c:姓名を刻すことができる。 作品に押印するセンスを身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
	草書の学習	・書譜 ・十七帖	a:草書に関心、興味を持たせ、歴史的位置づけを理解できる。 b:古典の用筆、運筆を修得できる。 c:半切 1/2 に臨書する。 作品を鑑賞しあい、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察
三学期	仮名の学習	・カレンダー作成 ・パネル作品作成 ・缶バッチ作品を作成 ・色紙作成	a：１．２学期に習得した書体をアレンジ b：アレンジした書体を更に進化させ文字の楽しさを修得する。 c:作品を鑑賞しあい、書美に対する感性を身に付ける。	作 品	プリント	振り返りプリント 観 察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度